

(工学研究科)

公益財団法人 KDDI 財団 「2026 年度外国人留学助成」候補者の募集

2025. 7. 3

1 応募資格・・・以下のすべてに該当すること

- 1) 申請時に工学研究科の大学院正規課程に在籍する外国人留学生（在留資格「留学」）で、2026 年 4 月に博士前期課程又は博士後期課程に在籍する者。博士前期課程から博士後期課程の進学予定者も含む。（2026 年 4 月に上記課程へ入学・編入学予定であっても申請時に研究生の場合は応募不可。）2026 年 4 月に博士後期課程 3 年に在籍する者は、学位取得が見込まれる者のみ応募可。
- 2) 2026 年 4 月 1 日現在で 35 才以下である者。
- 3) 法律、政治、経済、社会、科学技術の各分野において、情報通信又はこれに関連する事項をテーマとした研究に取り組んでいる者。
- 4) 財団募集要項〈対象国籍〉記載国の国籍を有する者。
- 5) 他の奨学金との併給可（ただし月の合計金額が 10 万円以下の場合のみ）

Application documents can be filled in English.

2 奨学金の金額と期間

月額 10 万円 2026 年 4 月から 6 カ月又は 12 カ月

※ ただし、他の機関から奨学金、学費・生活費の援助を目的とする助成金、給与等を受給する者については、その援助額と当財団からの助成額の月額の合計が上記の額を超えないように調整される

3 推薦予定者数 工学研究科から 6 名以内

※ 同一国籍の学生は推薦数の半数を超えない人数まで、1 人の指導教員につき推薦できる留学生は 1 名のみ。

4 提出書類（全てメールで提出のこと。日本語・英語どちらかで作成）

- 1) Application Form 1 (Word で作成の上、Word ファイルで提出)
- 2) Application Form 2 (Word で作成の上、署名し PDF ファイルで提出)
- 3) 指導教授推薦書 (Word で作成の上、署名・押印し PDF ファイルで提出)
- 4) 在学証明書 (4 月進学者は、合格証明書等の写し)
- 5) 成績証明書 (学士以降直近のものまで。別紙成績評価係数算出方法を参照の上、算出した係数を余白に鉛筆書きすること)
- 6) 経済状況調書 (2025 年 7 月 1 日現在)
- 7) 在留カードの写し (両面)
- 8) 奨学金申請時の心得について (指定様式)
- 9) 私費外国人留学生身上書 (指定様式)
- 10) 家計状況申告書 (指定様式)

※ 1)はWord ファイル、2)~10)はPDF ファイルで提出。

5 申請書類の提出先 `eng-mon@grp.tohoku.ac.jp`
工学部・工学研究科教務課国際交流係

6 締切日 2025 年 7 月 23 日(水)

KDDI 財団
2026 年度助成募集要項

外国人留学助成

申請書類受付期間

2025 年 8 月 1 日（金）～ 8 月 15 日（金）17 : 00

（切厳守）

公益財団法人KDDI財団は、国際情報通信に関連した分野の助成を行うことによって、幅広い人々の国際間交流の振興を図り、世界の調和ある健全な発展に貢献することを目的として、情報通信またはこれと関連する事項をテーマとした研究に取り組む在日の外国人留学生に対し助成する。

1. 申込資格

(1) 日本以外の国籍を有する者

(日本と他国の重国籍を有する者は応募不可/対象国籍についてはp.5 <対象国籍>を参照)

(2) 在留資格「留学」を有する者

(3) 2026年4月1日現在 35才以下である者

(4) 申込時および助成期間中を通し、当財団が推薦を依頼する大学(以下、「指定校」)の修士課程または博士課程に正規学生として在籍する者(研究生、入学・編入学見込みの者は応募不可)

指定校の修士課程に在籍し、助成開始時または助成期間中に博士課程へ進学する者は、応募可。(進学後に在学証明書を提出)

助成開始時点(2026年4月)で博士課程3年在籍予定のものは学位取得を条件とする。

→「指導教授の推薦書」に学位の取得が見込まれることを必ず記述。

2. 研究内容

法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野において、情報通信またはこれと関連する事項をテーマとした研究に取り組んでいる者

3. 推薦

・指定校から推薦を得られた者

(6名まで可。ただし、同一国籍の学生が全応募数の半数を超えないよう調整)

・1名の指導教官につき推薦できる留学生は1名に限る。

4. 助成内容

(1) 対象人数 10名程度

(2) 開始時期 2026年4月1日

(3) 助成期間 6ヶ月または12ヶ月

(4) 助成金額 10万円(月額)

ただし、他の機関から奨学金、学費・生活費の援助を目的とする助成金、給与等を受給する者については、その援助額と当財団からの助成額の月額の合計が上記の額を超えないよう調整する。(奨学金の詳細については、申請段階で判る範囲の情報をシステムの該当欄に記述。)

***大学からの奨学金については、調整の対象外。(大学の資金であること。国、自治体等の資金により大学が支給する奨学金、研究支援金はこれに該当しない。)**

参考の為、大学からの奨学金についてもシステム該当欄に記述ください。

事務手続き

(1) 応募方法

「[助成申請システム](#)」より応募 *大学ご担当者様がシステムに入力。

(2) 提出書類

(申請時)

Ⅰ 学生

- a. 「Application Form 1」
- b. 「Application Form 2」
- c. 「指導教授の推薦書」

以上の書類を大学ご担当者様に提出。

*** 「a」は word、「b」「c」は PDF で提出。**

Ⅱ 大学ご担当者様

- ① 「a」を基に、システム入力
- ② 「b」「c」と「大学からの推薦書」（学長もしくは学部長）の PDF をシステムにアップロード

* a. 「Application Form 1」は、学生様より大学担当者様に **word** でご提出、大学担当者様がシステム入力される際の補助とする。財団への提出は不要。

* 提出いただいた書類は返却しない。

(3) 審査

- ・前年度に助成を受けた方の連続応募は可能であるが、評価の際に優先順位が低くなる場合がある。
- ・選考の際、国籍の配分に配慮する場合がある。

(4) 内定

内定は書類審査を経て、2026年1月中旬～2月初旬頃に大学窓口ご担当者へ通知する。
(審査の経過および内容についての問い合わせは受け付けない。)

(5) 決定

2026年3月開催の理事会にて決定

(6) 助成金等の贈呈

贈呈の詳細については、決定通知後に通知する。

その他

(1) 報告の義務

助成金受給者には、助成終了時に研究の結果を「Final Report」としてご報告していただきます。フォーマットはシステムに掲示する。

なお、報告の義務を怠った場合、助成金を返納していただく場合があります。

(2) 助成の停止、取消等

下記事項のいずれかに該当する場合は、助成の停止または取消を行う場合があります。

また、すでに給付した助成金の全額または一部を返納していただく場合もある。

- ① やむをえない事由(病気等)により研究を継続することが困難であると認められる場合
- ② 日本国内での研究の継続が困難な場合
- ③ 虚偽の申告または記載事項の一方向的な変更を行った場合
- ④ 受給者に人権侵害、環境への配慮を欠く等社会に反する行為が認められる場合
- ⑤ 受給資格を喪失した場合
- ⑥ その他当財団の助成の趣旨に反する事情がある場合

(3) 個人情報の保護と情報の開示について

個人情報については法律および当財団の内部規程に則り、適切な取り扱いを行う。

ただし、対象者の助成情報は原則として公開とし、当財団で発行する広報誌に掲載する。

(4) 当財団審査委員一覧は、[ウェブサイト](#)を参照すること。

以 上

【問い合わせ先】

公益財団法人KDDI財団 助成事業事務局

〒102-8460

東京都千代田区飯田橋3-10-10 ガーデンエアタワー

email: [grant \(at mark\) kddi-foundation.or.jp](mailto:grant@kddi-foundation.or.jp)

* (at mark) は@に変換してください。

*お問合せは、emailでのみ受け付けます。

U R L : <https://www.kddi-foundation.or.jp/>

対象国籍

・アジア地域

インド共和国、インドネシア共和国、カンボジア王国、スリランカ民主社会主義共和国、タイ王国、ネパール、パキスタン・イスラム共和国、バングラデシュ人民共和国、東ティモール民主共和国、フィリピン共和国、ブータン王国、ブルネイ・ダルサマール国、ベトナム社会主義共和国、マレーシア、ミャンマー連邦共和国、モルディブ共和国、モンゴル国、ラオス人民民主共和国

・中東地域

アフガニスタン・イスラム共和国、アラブ首長国連邦、イエメン共和国、イスラエル国、イラク共和国、イラン・イスラム共和国、オマーン国、カタール国、クウェート国、サウジアラビア王国、シリア・アラブ共和国、トルコ共和国、バーレーン王国、ヨルダン、レバノン共和国、パレスチナ

・太平洋州地域

キリバス共和国、クック諸島、サモア独立国、ソロモン諸島、ツバル、トンガ王国、ナウル共和国、ニウエ、バヌアツ共和国、パプアニューギニア独立国、パラオ共和国、フィジー共和国、マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦

・欧州地域

アゼルバイジャン共和国、アルバニア共和国、アルメニア共和国、アンドラ公国、ウクライナ、ウズベキスタン共和国、エストニア共和国、カザフスタン共和国、キプロス共和国、ギリシャ共和国、キルギス共和国、クロアチア共和国、コソボ共和国、サンマリノ共和国、ジョージア、スロバキア共和国、スロベニア共和国、セルビア共和国、タジキスタン共和国、チェコ共和国、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア共和国、ベラルーシ共和国、ポーランド共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ、北マケドニア共和国、マルタ共和国、モルドバ共和国、モンテネグロ、ラトビア共和国、リトアニア共和国、リヒテンシュタイン公国、ルーマニア

・アフリカ地域全諸国

・中南米地域全諸国

*地域、国については[外務省ホームページ](#)に基づく情報です。

※本紙を申請書類一式に添えて提出してください。

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2024.07.01

1. 申請の前に

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ず予め所属部局の奨学金担当係に確認してください。

2. 申請前チェックリスト

手書き・電子共通

- 申請資格、採用後の義務(認定式、交流会、定期課題等)を確認したか。
- 申請書類がすべて揃っているか改めて確認したか。
- 併給不可の他の奨学金を受給又は申請していないか。
- 面接がある場合、必ず出席できるように予め交通費、場所、日時等を確認したか。
- 学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記載したか。
- 財団が指示する記入上の注意や指定の書き方に沿った書き方をしたか。
- 記述する項目は記入欄の7割以上は記入したか。
- 記入することが無い欄は空欄とせず「0」(ゼロ)や「なし」と記入したか。

手書きの場合

- 黒のボールペンで記入したか。※フリクション不可
- 記入した申請書類は第三者が見て判読可能な文字であるか。
- 修正液(テープ)は使用していないか。※訂正の場合は訂正印を押す又は新たな用紙に書き直すこと

申請書類に不備があった場合、学内選考において、低評価となる場合があります。提出前に必ず再度確認し、下記に記名の上、本紙を申請書類一式に添えて提出してください(データ提出可)。

学籍番号:

氏 名:

※ 大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

*2025年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 MC 年	年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名			指導 教員		研究室 TEL
氏名	(漢字)				既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)			国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学					年 月 卒業・修了
東北大学 での異動 (新しい順番に)	在籍身分		在籍期間		
			年 月 ~ 現在		
			年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館		
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館		
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町		
	国際交流会館東仙台会館				
	県・市営住宅・民間アパート(住所)				

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2025年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

家計状況

* 2024年4月から2025年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2024年10月入学の場合は2024年10月から2025年3月までについて記入してください。

収入		支出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合計	円	合計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例: 2023年 ○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2025	前期	申請中	申請なし			
2024	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった
2023	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請なし	申請したが不許可だった